

椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

Tel 0983-32-2028

Fax 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

駅伝・ロードレース大会

12月15日(金)5・6校時に、小丸川河川敷で本校の駅伝・ロードレース大会がありました。天候は曇で肌寒い日ではありましたが、大会にはとても好条件でした。参観日を兼ねていたので、参観される保護者や地域の方々もいらっしゃいました。白熱した大会となりました。



この大会の結果は次のとおりです。

➤ 駅伝の部

駅伝は、1区から6区までで、1・3・5区は距離が1km、2・4・6区は距離が2kmで、男子は2km、女子は1kmの区間を走りました。各学級対抗戦でした。駅伝の優勝は2年A級でした。

駅伝の各区分賞は、次のとおりです。

1区 濱砂 慧花さん(2A) 3'41"

2区 平元 亮くん(2A) 6'48"

◇区間歴代新記録

3区 原 彩乃さん(2B) 4'06"

4区 海老原 隼弥くん(2A) 7'06"

5区 高山 奈穂さん(1B) 3'37"

◇区間歴代新記録

6区 大山 晴幸くん(3A) 6'50"

➤ ロードレースの部

ロードレースは、男子が3km、女子が2kmでした。

ロードレース団体の部

: 優勝2年B級 2位2年A級

ロードレース歴代新記録

: 森崎 真人くん 2年B級 11'26"

続いて、ロードレースの各学年男女別1位入賞者を紹介します。

➤ ロードレース女子

1年女子 三牧朱雲まやさん 1年A級

2年女子 田中茉莉奈さん 2年A級

3年女子 樋口希蘭里さん 3年A級

➤ ロードレース男子

1年男子 鹿島勇斗くん 1年A級

2年男子 森崎真人くん 2年B級

3年男子 桑原刀麻くん 3年B級

おめでとうございます。

生徒会代表2学期の反省

生徒会会計 1学年 中下 大和くん

夏休み明けから始まり今日で終わる2学期、皆さんにとって永かったですか、それとも短かった

ですか。短かったと感じる人は、それだけ毎日の生活が充実していたと思います。

2学期は、体育大会、文化祭、修学旅行、駅伝・ロードレース大会などの行事が次々と実施されたので、私はとても短く感じました。

また、私は2学期の生徒会役員改選で、新生徒会役員として選出され、会計の役を任命されました。2学期の後半からでしたが、生徒会執行部として生徒会活動をしていく中で、私自身反省すべきことが2点あります。

1 つめは、先生に指示されないと行動できなかったということです。初めのうちは、生徒会執行部の5人のメンバーで生徒会の仕事をこなしていましたが、2学期の終わり頃になると、A-1賞(これは日頃の校内生活で積極的に元気よく挨拶をしている人に贈られる賞です)の取組や、空き缶回収の呼びかけなどに対して、先生から指示されないとできなかったということがありました。これからは自分たちで先を見通して、生徒会執行部としてやるべきことを計画的に取り組んでいきます。

2 つめは、私自身が登校する時間が遅く、あいさつ運動にあまり関わられなかったことです。毎朝、生徒会執行部が校門であいさつ運動をしますが、私自身はいつも7時30分頃登校していたので、あいさつ運動のできる時間が10分もなかったということです。

私自身がもっと自覚を高めて早く登校すること、これまでの反省をしっかり行い、3学期はあいさつ運動の活性化に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

さらに、3学期は、新たな心構えで一日一日を

充実させた生活を送りたいと思います。

勉強に集中させるために

勉強になかなか集中しませんという話を親御さんから聞くことがあります。このことについて考えてみたいと思います。



かつては宿題を出し、なかば強制的に家庭で学習させていました。しかし、それでは本当の力はつきません。子どもにとって、好きな学びであれば、それをしている飽きることは少ないのです。それは、「自ら学ぶ意欲」があるからです。このような「自ら学ぶ意欲」をうまく育てることができれば、きっと意欲的に学習してくれるはずです。

「学習を通して、子どもの有能さを認めることができる機会を与える」ことは大切です。例えば、数学のテストで65点を取った子に対して「何だ、そんな点しか取れなかったのか。もっと頑張らなとだめだ」と言うよりも、「よく頑張ったね。もう少し頑張れば、きっと百点取れるようになるよ」と激励する方が、やる気は高まります。それは、自分の努力が親から認められ「やればできる」という有能感が生じるからです。

さらに、「子どもの自発的な学習を促す」ことも大事です。子どもが、自分の有能さを実感できるようになれば、自然に自発的な学習活動をするようになります。「あれをやってみよう」「もっと難しい問題を解いてみよう」というように、自発性が芽生えてきます。

できるだけ子どものよさや努力を認めてやる機会を多くしていき、子どもの意欲を高める言葉かけを続けていってもらえたらと思います。